

## 第4章 地域別構想



## 地域別構想について

地域別構想では、本市を土地利用や地理的特性、地域的つながりなどから中央地域、北部地域、東部地域の3地域に区分し、それぞれの地域に応じた都市づくりの方針を検討します。

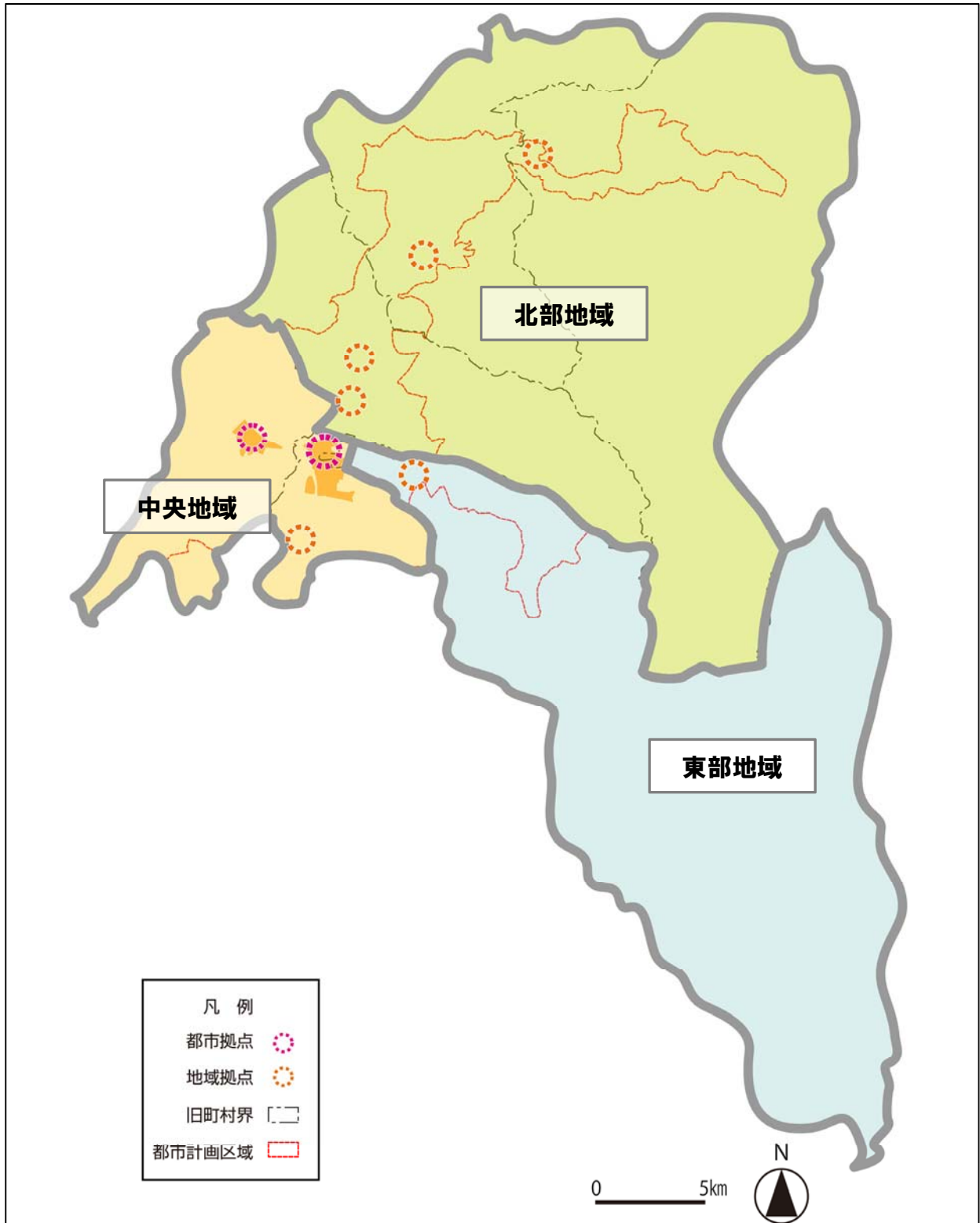
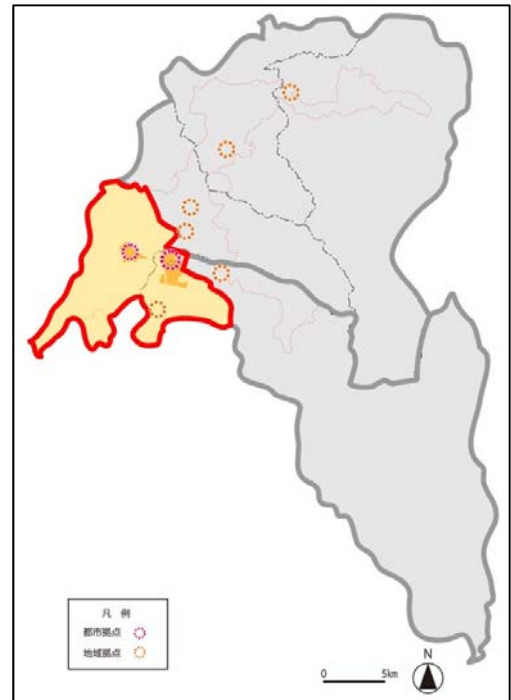


図 4-1 地域区分図

(1) 都市の現況

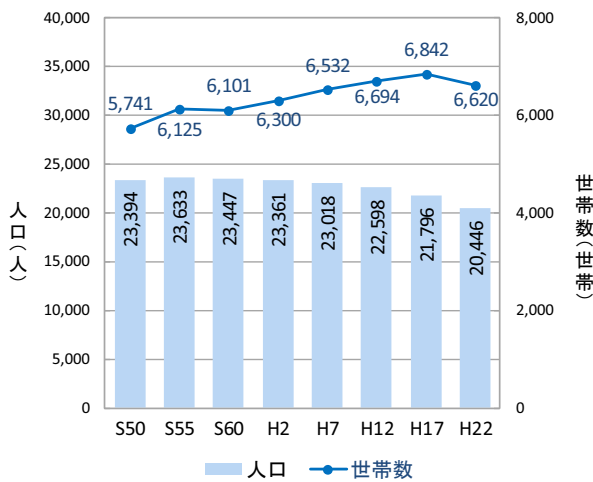
① 地域の概要

- 中央地域は、堀之内地域と小出地域を基本とした魚沼市の中心となる地域で、小千谷市や長岡市川口地域、十日町市、南魚沼市と接しています。
- 地域内に関越自動車道の2つのインターチェンジを有するほか、国道や鉄道の複数の路線が交わり、交通結節点となっています。
- 堀之内地域と小出地域の中心部には市街地が形成され、その周辺に農地が広がっています。
- 魚野川が南北に貫流し、これに破間川や佐梨川などの1級河川が合流しています。

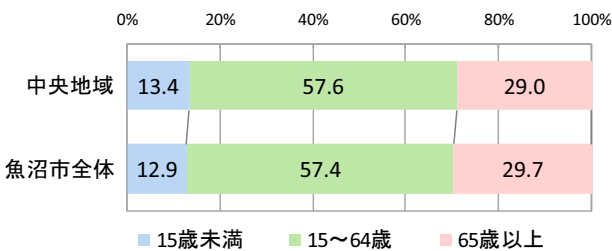


② 地域基礎データ

● 人口・世帯数の推移



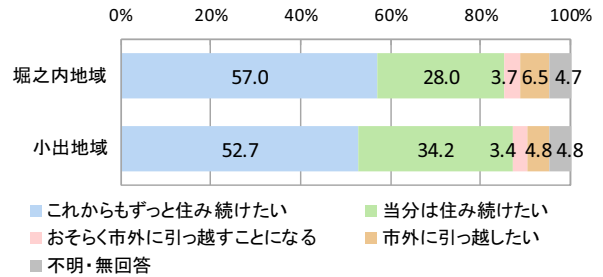
● 年齢3区分別の人口割合



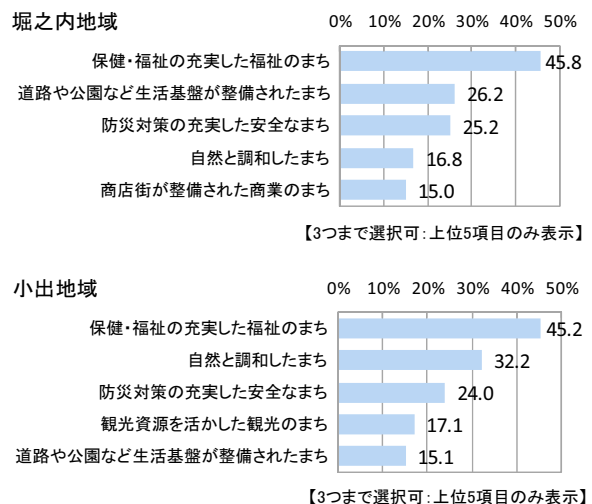
※人口・世帯数は、堀之内地域、小出地域の合計

③ 住民意向 (H25.7 実施 市民アンケート結果)

● 今後の居留意向



● 将来望まれるまちのイメージ



## (2) 地域の現状と課題

### 【中心市街地の活力の低下】

- 小出や堀之内市街地の商店街は、居住人口の減少、高齢化と後継者不足、空き店舗の発生などにより活力が低下しつつあり、今後は本市の中心部としての求心力の強化が必要です。
- 地域住民の日常の買物先は、井口新田や原虫野等の用途地域の外縁部に立地するスーパー等が中心となっており、小出市街地商店街の賑わいが失われています。
- 市街地内には大規模な未利用地や農地が点在しており、利活用方法の検討が必要です。

### 【市街地部での道路の整備】

- 小出市街地の商店街周辺は来訪者の路上駐車が多く安全な通行を妨げており、対策が必要です。
- 堀之内市街地には未整備の都市計画道路が多く、快適で魅力ある道路空間の形成や機能的な道路網形成のために、整備の促進が必要です。

### 【地域資源の活用】

- 小出市街地の陣屋通りや酒蔵通りなど歴史的な資源があるものの、その魅力が十分に活かされておらず、有効な活用が求められます。
- 堀之内市街地は三国街道の宿場町として歴史を有することから、有効な活用方策の検討が必要です。

### 【地域の活力の低下】

- 人口減少や高齢化の進行により、地域コミュニティ機能の低下や十五夜祭等の伝統文化の担い手減少が進みつつあり、人口減少の抑制と併せた伝統行事などを維持する仕組みづくりが必要です。

### 【災害の危険性】

- 市街地に隣接して山裾などに土砂災害警戒区域等が多く分布しており、適正な土地利用誘導や基盤整備などにより災害を未然に防止することが必要です。
- 小出島周辺は、魚野川や佐梨川、破間川等の河川に囲まれ浸水想定区域となっていることから、水害による被害を防止するための対策が必要です。
- 小出地域の中心部では住宅や小規模店舗が密集する地区が見られることから、火災時の延焼防止など災害の拡大を防止するための対策が必要です。

### (3) 将来目標

- 目標1 魚沼市を特徴づける賑わいある都市拠点を形成します
- 目標2 地域住民が暮らしやすいまちを形成します
- 目標3 交通網の充実により便利なまちを形成します
- 目標4 地域の資源を活かし、魅力あるまちを形成します
- 目標5 安全に安心して暮らせるまちを形成します

### (4) 地域づくりの方針

#### 魚沼市を特徴づける賑わいある都市拠点を形成します

#### 【多様な都市機能の集積による便利で賑わいのある都市拠点の形成】

##### 小出地域

- 小出地域の中心部は、魚沼市の中心部として行政・福祉・文化・商業等の多様な施設の集積を図り、利便性の高い魅力的な中心部を目指します。
- 市役所新庁舎の整備を促進するとともに、周辺の小出病院や小出市街地を結ぶ歩行空間を整備するなど、地域住民や来街者にとって歩いて多様なサービスが受けられる利便性の高いエリアを形成します。
- 中心市街地への集客のための取組を検討し、市外や他地域からも多くの人々が訪れる、賑わいのある環境づくりに努めます。



小出中心部

##### 堀之内地域

- 堀之内地域の中心部は、小出地域との連携や役割分担を考慮した都市機能の集積を図り、利便性の高い都市拠点を形成します。
- 堀之内地域の商業地は、周辺地区や集落からの買い物客が便利に利用できる、日用品などを主体とした商業機能の充実を目指します。



堀之内中心部

## 【まちなか居住の推進】

- 公共施設や商業施設に隣接する便利な住宅地としての利点を活かし、多様な世代が快適に暮らせる住環境の整備を推進します。
- 高齢者が安心して暮らせるまちなかの住宅地の整備を推進します。

## 【空き地や空き家等の有効活用】

- 商店街周辺の空き地や空き店舗は、来街者の利便性向上のための駐車場整備や、自由にくつろぎ、交流できるような憩いの場としての活用を検討します。
- 空き家や空き店舗を活用した新規創業やチャレンジショップを検討するなどにより、まちなかの賑わい再生と就業機会の創出を目指します。

## 【まちなかの回遊性の向上】

- 商店街や公共施設周辺は、歩道の連続性の確保やバリアフリー化、デザイン化された誘導サインの設置などにより、歩いて楽しめる歩行空間の整備を図ります。
- 陣屋通りや酒蔵通りは、歴史を感じさせる魅力ある景観整備などにより、地区の特色を活かした整備を図ります。
- JR越後堀之内駅周辺は、駅の南北を移動しやすいよう施設整備を検討し、駅周辺及び商店街への歩行者動線の環境整備を進めます。



陣屋通り

## 地域住民が暮らしやすいまちを形成します

## 【地域拠点の形成】

- 小学校や郵便局、スーパー等が立地する虫野地区周辺は、地域住民の生活の核である地域拠点として生活サービス機能の維持充実を図ります。
- 買回り品の買物や病院、福祉施設等の都市サービス施設へ円滑にアクセスするため、拠点間を結ぶ公共交通網の充実を図ります。

## 【集落地の活力の維持・向上】

- 集落地内の空き家は、都市との連携を視野に入れ、効果的に活用される仕組みを地域で検討します。
- 買回り品の買物や通学、診療所等の生活サービス施設へ円滑にアクセスするため、集落地と各拠点を結ぶ交通網の充実を図ります。

- J R 上越線各駅については、公共交通の核として便利に利用できるよう、バスとの連携強化や待合所の充実等、環境整備を促進します。

### 【工業団地の企業誘致の促進】

- 水の郷工業団地は新たな企業の立地誘導を図り、若者にとっても魅力ある就労機会の確保を目指します。
- 小出南部工業団地や上原工業団地等の企業立地促進法に基づく重点促進区域に指定されている地区では、食料品製造や電子部品デバイス、機械器具製造に関連する産業等の集積を促進する環境整備を支援します。



水の郷工業団地

## 交通網の充実により便利なまちを形成します

### 【公共交通の利用促進】

- 小出駅周辺は、J R 上越線及び只見線が乗り入れ、各方面へのバス発着の交通拠点であることから、交通事業者との連携により、乗り継ぎの利便向上や待合スペース改善など、駅機能の充実を働きかけます。
- 市役所新庁舎の建設にあわせ、市民が各地域から新庁舎へアクセスしやすいよう、公共交通のルート等を検討します。
- 小出駅や越後堀之内駅周辺にはパークアンドライド駐車場の整備など、駅利用者の利便性向上や鉄道利用を促進するための整備を検討します。



JR 北堀之内駅

### 【利便性の高い道路網の整備】

- 都市拠点間の連携を強化するため、堀之内市街地と小出市街地とを結ぶ県道堀之内小出線の整備促進を関係機関に働きかけます。
- 長期未着手となっている堀之内市街地の都市計画道路の整備を関係機関に働きかけます。
- 市役所新庁舎周辺は、多くの市民がアクセスしやすいように、市道の整備を推進します。



## 地域の資源を活かし、魅力あるまちを形成します

## 【観光資源の活用による交流人口の拡大】

- 奥只見レクリエーション都市公園や小出公園、月岡公園等の大規模公園や道の駅等は、交流人口の拡大と地域の活性化のため、施設相互の連携強化や、魅力ある沿道景観や観光案内板の整備等を検討します。
- 宿場町として栄えた堀之内の風情を再現するため、県道堀之内小出線沿道の景観を考慮した整備を、地域住民とともに検討します。
- まちの賑わいを創出するため、十五夜祭り・雪中花水祝などの地域伝統行事の存続や地域資源である雪を活かした行事の開催などを支援します。



月岡公園



月岡公園のユリ

## 【自然の活用と保全】

- 用途地域内の空き地で宅地化の見込みのない土地については、賑わいのあるまちづくりに資する土地利用など新たな活用方策を検討します。
- 用途地域周辺の農地については、無計画な住宅地の拡散的開発などにより低密度な市街地が広がることのないよう、保全に努めます。
- 山林や河川等の自然資源については、生物多様性の保全、及び良好な景観の保全と活用を図ります。
- 農業・集落ゾーンに広がる農地は、全国的に有名な魚沼産コシヒカリの産地であることから、地域を特徴づける豊かな田園環境として保全・活用を図ります。
- 高齢化や後継者不足により今後も増加が予想される耕作放棄地については、都市住民の体験、交流の場など有効な活用を検討します。
- 現地住民の案内ボランティアによる里山探検の開催等、自然環境を活用した交流活動を支援します。



破間川と周辺に広がる農地

### 【既存の公共施設の有効活用】

- 新庁舎建設後の市役所庁舎については、耐用年数や安全性、老朽化の進行状況等を踏まえ、長期的な視点で用途変更や複合的な活用を検討します。
- 小出郷文化会館は、周辺市町村からの入込客も期待できることから、文化・市民活動の核として活用し、交流人口の拡大を図ります。



小出郷文化会館

### 【公園・緑地の保全と活用】

- 市街地内の空き地は、子どもの遊び場や高齢者の憩いの場として活用できるよう検討します。
- 集落内にある公園や空き地は、集落住民の交流の場、災害時の緊急避難の場など、その機能が十分活用できるよう有効な活用を図るとともに、住民の手による維持管理を促進します。
- 魚野川ふれあい公園やビハーラ佐梨川などの河川公園は、直接水に触れ、水遊びができる身近な親水空間として、今後も維持充実に努めます。
- 奥只見レクリエーション都市公園（道光・根小屋地域）の芝桜や、月岡公園のユリ等は地域を特徴付ける観光資源であることから、今後も施設の機能充実を関係機関に働きかけます。



ビハーラ佐梨川

## 安全に安心して暮らせるまちを形成します

### 【木造密集市街地の環境改善】

- 敷地の狭い家屋が密集する古くからの住宅地は、安全で快適な市街地環境の形成に向けて、地区住民との話し合いの中で、オープンスペースの確保、建物の不燃化、周囲の緑化等適切な改善策を検討します。

### 【安全な道路の整備促進】

- 多くの歩行者が利用する市街地内の通学路や公共施設周辺等の道路は、バリアフリーに配慮した歩道の整備や歩行者空間のネットワーク化などにより安全な道路整備を図ります。
- 市役所新庁舎の周辺は、防災性や安全性に配慮した利便性の高い道路網を形成します。



小出 IC 周辺

- 集落内を通過する国道や県道等、交通量の多い道路の歩道設置を関係機関に働きかけ、安全な歩行空間の確保を促進します。

### 【安全なまちの形成】

- 市街地や集落周辺の山裾等、土砂災害の危険性のある箇所については、災害を未然に防止するため防災対策を促進するとともに、住宅や公共施設等の新たな立地の抑制など、開発や建築の適切な誘導を図ります。
- 豪雨時に市街地内で発生する内水被害を防止するため、排水ポンプの適切な整備や維持管理を推進します。

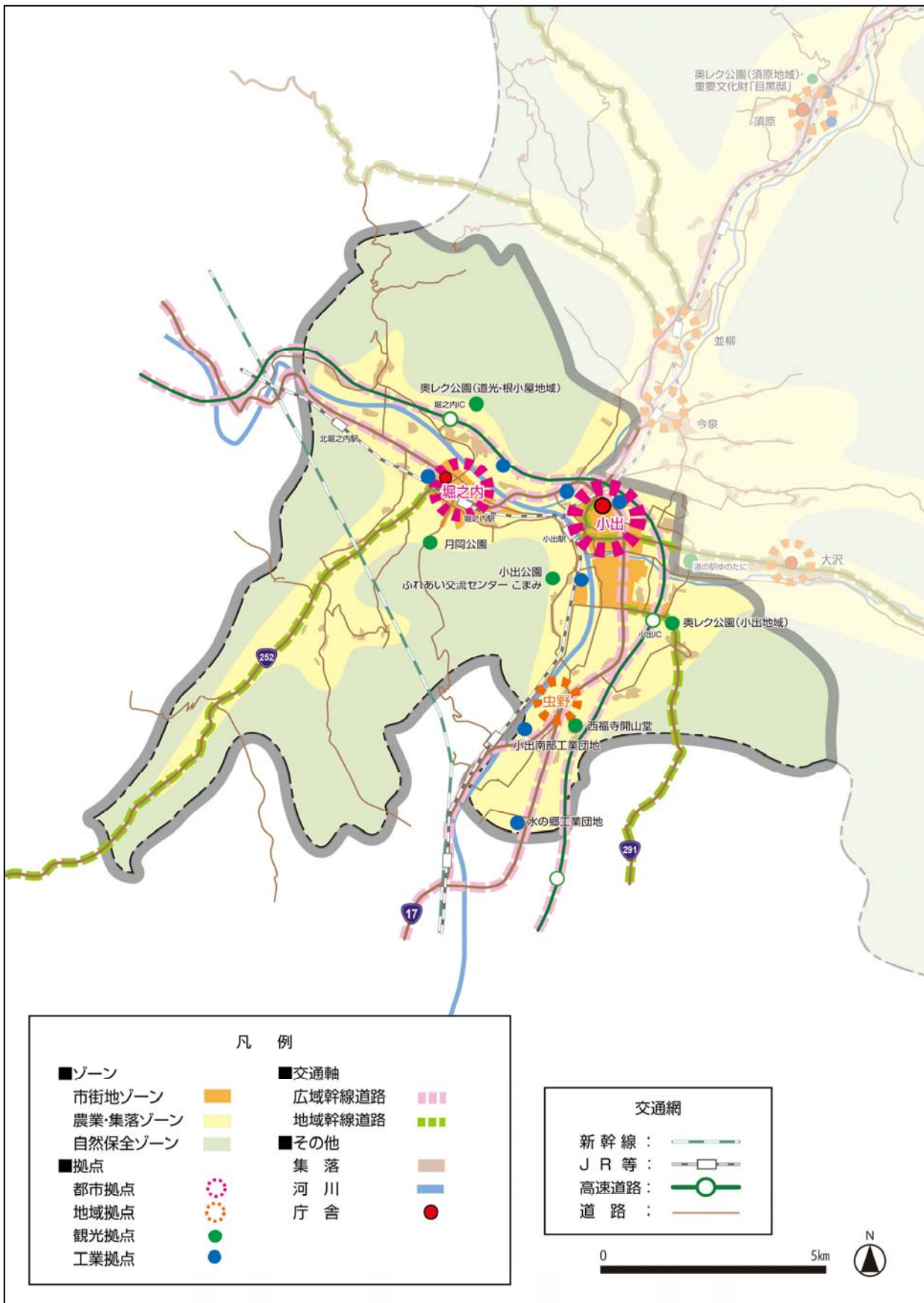
### 【適切な除雪・排雪の推進】

- 限りある資源である地下水を保全するため、地下水に頼らない除雪や排雪の方策を検討します。
- 市街地内の老朽化した流雪溝施設の改良を行い、円滑な雪処理環境の整備を図ります。また、機械除雪や消雪設備など、地区の特性に合わせた適切な雪処理対策を行うとともに排雪場所等の確保に努めます。
- 市街地内の道路には、堆雪スペースの設置を関係機関に働きかけ、雪に強い道路環境の整備を図ります。
- 市役所新庁舎周辺は、公共施設や病院が立地し、高齢者や障害者も多く利用することが考えられるため、ロードヒーティング等の融雪システムや地中熱等の再生可能エネルギーの導入を検討します。

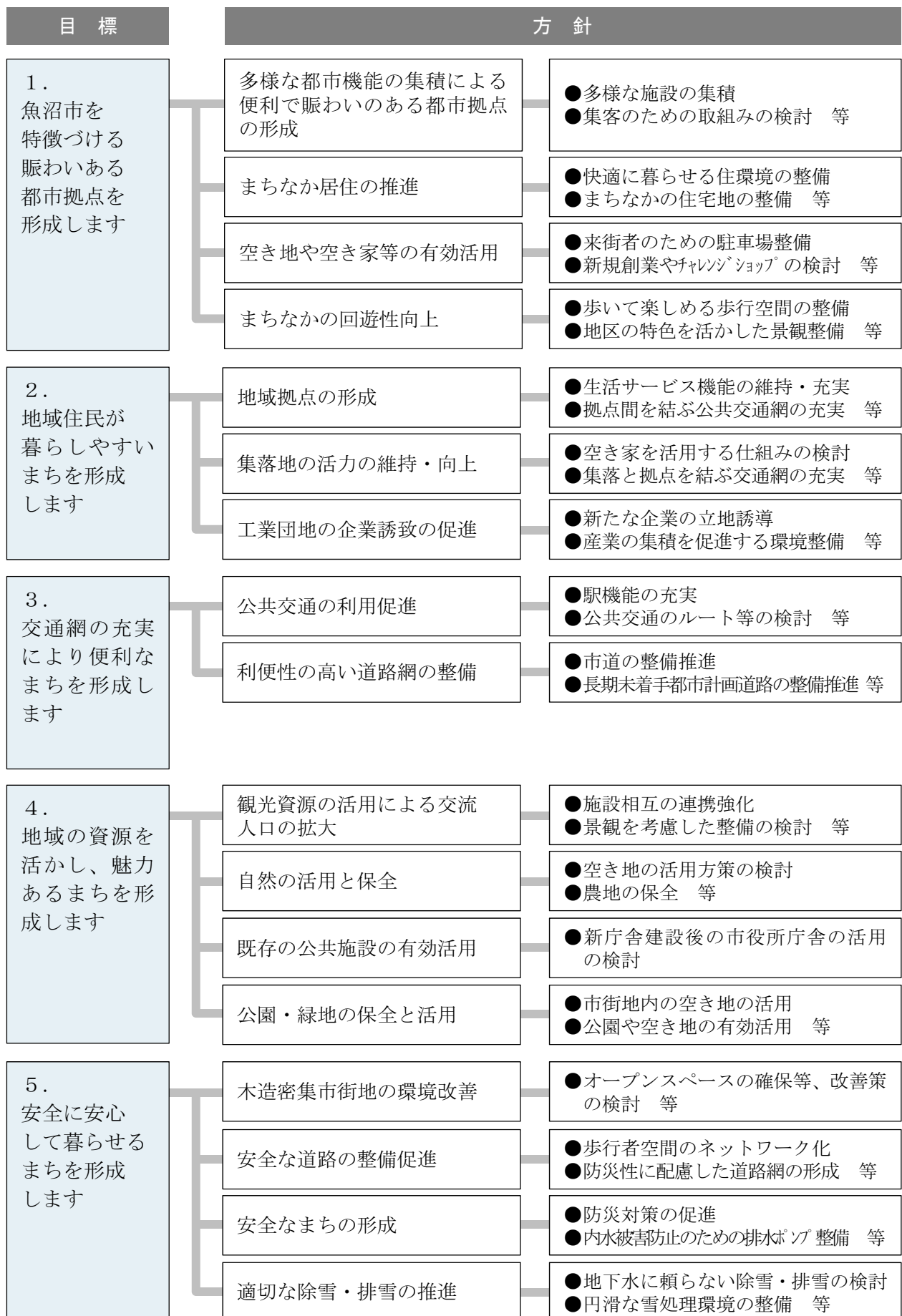


「流雪溝発祥の地」碑

■ 中央地域 方針図



■中央地域 方針の体系

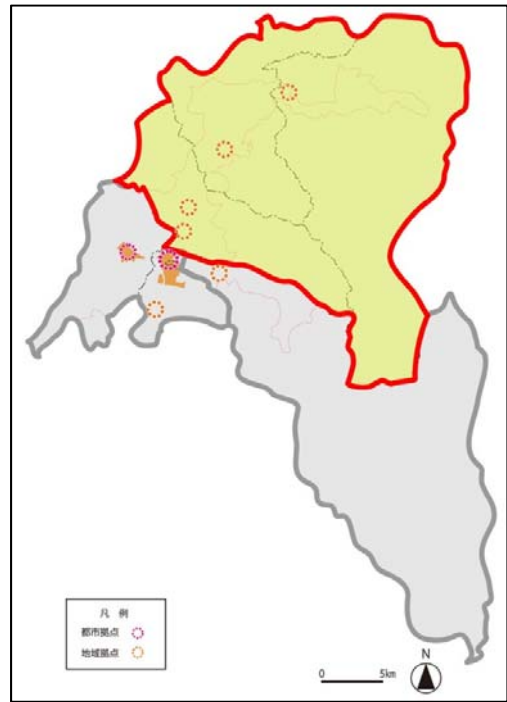


# 2 北部地域

## (1) 都市の現況

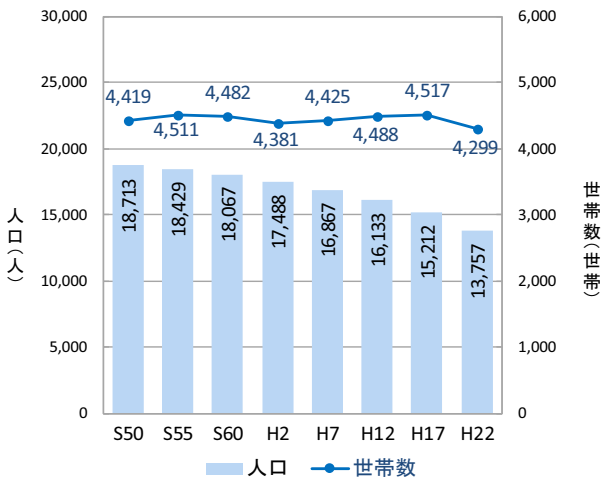
### ① 地域の概要

- 北部地域は、広神地域、守門地域、入広瀬地域を基本とした地域です。
- 小出地域中心部から福島県に向かって国道252号とJR只見線が通り、また、地域内を破間川が貫流し、その流域に集落が形成されています。
- 「道の駅いりひろせ」のほか、国指定重要文化財の目黒邸や佐藤家、奥只見レクリエーション都市公園須原地域及び浅草岳地域が立地するなど、観光資源が分布しています。
- 公共交通としては、JR只見線と路線バス、乗合タクシーが運行しています。

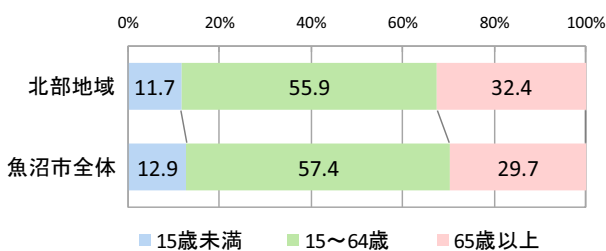


### ② 地域基礎データ

#### ● 人口・世帯数の推移



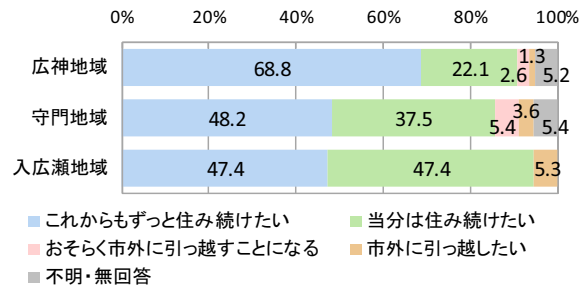
#### ● 年齢3区分別の人口割合



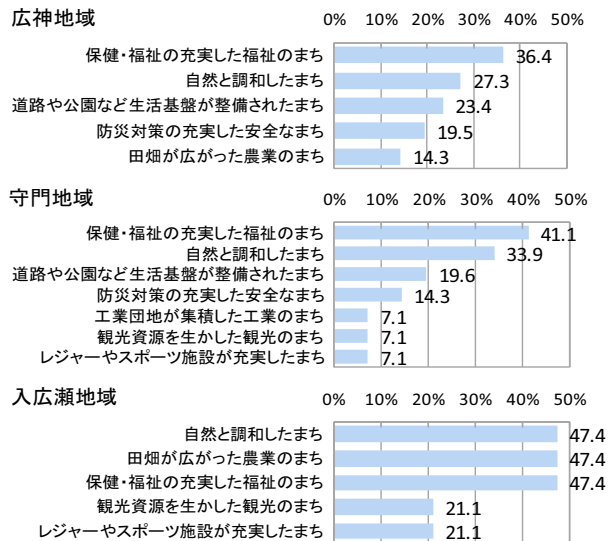
※人口・世帯数は、広神地域、守門地域、入広瀬地域の合計

### ③ 住民意向 (H25.7 実施 市民アンケート結果)

#### ● 今後の居住意向



#### ● 将来望まれるまちのイメージ



【3つまで選択可：上位5項目のみ表示】

## (2) 地域の現状と課題

### 【地域の活力の低下】

- 中山間地域である本地域は、市内の中でも特に人口減少と高齢化が進んでいます。今後も人口減少が進む中で地域住民の生活利便性を維持するための仕組みづくりが必要となります。

### 【不便な公共交通網】

- 守門地域、入広瀬地域では、乗合タクシーが運行していますが、小出中心部への直接乗り入れがなく乗り継ぎが必要となるため、鉄道や路線バスとの連携を含めた利便性の向上が必要です。
- 地域内の国道に沿ってJR只見線が運行していますが1日4便程度しかなく、利用者は減少しています。公共交通網を維持するための利用促進策などを検討することが必要です。

### 【地域資源の活用】

- 地域内には国の重要文化財である目黒邸や佐藤家のほか、2箇所奥只見レクリエーション都市公園があり、これらの地域資源を有効に活用して交流人口を拡大していくことが必要です。

### 【災害の危険性】

- 本地域は特に積雪が多く、また地形から土砂災害や雪崩が発生しやすく、発生箇所によっては集落の孤立の危険性もあるため、災害防止のための対策と安全な道路ネットワークの整備が求められます。
- 人口減少率や高齢化率が特に高い地域であることから、今後も増加が予想される高齢単身世帯が安心して暮らせるまちづくりが求められます。

## (3) 将来目標

- 目標1 4つの地域拠点の維持充実による暮らしやすいまちを形成します
- 目標2 公共交通が便利に使えるまちを形成します
- 目標3 観光資源を活用した賑わいのあるまちを形成します
- 目標4 安全に安心して暮らせるまちを形成します

## (4) 地域づくりの方針

### 4つの地域拠点の維持充実による暮らしやすいまちを形成します

#### 【地域拠点の形成】

- 今泉、並柳、須原、穴沢地区の中心部は地域拠点として、買物・医療など日常生活に必要な機能の維持集積を図り、近隣住民や周辺集落住民の生活利便性の維持向上を図ります。
- 各地域に立地する市役所庁舎は、新庁舎建設後も耐用年数や安全性、老朽化の進行状況等を踏まえ、長期的な視点で用途変更や複合的な活用を検討します。



穴沢地区

#### 【定住人口の確保】

- 今後も人口減少が見込まれる中で、生活サービス機能や地域コミュニティを維持していくため、空き家の有効活用によるU・Iターン者向けのお試し住宅の確保等、人口維持に向けた取組を推進します。

### 公共交通が便利に使えるまちを形成します

#### 【利便性の高い公共交通網の整備】

- 守門地域や入広瀬地域、周辺の農村集落からでも買回り品の買物や、通勤・通学、病院等の都市サービス施設へ円滑にアクセスできるよう、鉄道・路線バス・乗合タクシー相互の連携により公共交通網の利便性の向上を図ります。
- JR只見線の各駅は、路線バスや乗合タクシーとの乗り継ぎに配慮した待合機能の整備充実等、利便性の向上を図ります。
- JR只見線は、案内看板の設置や乗り継ぎ利便性の向上など、多くの観光客に利用してもらえよう整備を図ります。



只見線ラッピング列車



## 観光資源を活用した賑わいのあるまちを形成します

## 【自然を活用した都市との交流】

- 地域内に立地するスキー場は、県外からも人が訪れ、雪国である本市の賑わいを創出する拠点であることから、これらを有効に活用し、交流人口の拡大を図ります。
- 豪雪地の暮らし体験、山菜採りや農業などの体験メニュー、特産品の販売など、地域資源を活かした観光の振興を支援し、地域活力の維持向上を目指します。
- 守門岳や浅草岳は、自然環境を保全しつつ安全に登山できる環境形成のための施設整備を検討します。



須原スキー場

## 【地域資源の有効活用】

- 国の重要文化財に指定されている目黒邸や佐藤家は、観光客の利便性向上のための施設整備などを実施し、交流人口の拡大を目指します。
- 奥只見レクリエーション都市公園や道の駅いりひろせなど、既存の観光資源を有効に活用し相互のネットワーク化を図るため、アクセス道路沿道の景観整備や観光案内板の設置等を推進します。
- 守門岳や六十里越周辺等に分布するブナ林等、山林・河川等の自然資源については、良好な景観要素、多様な生物の生息空間、水源かん養、災害防止など、多面的機能の保全を図ります。
- 農業・集落ゾーンに広がる農地は、全国的に有名な魚沼産コシヒカリの産地でもあることから、地域を特徴づける豊かな田園環境として保全・活用を図ります。



目黒邸

## 【観光客にも配慮した環境整備】

- 越後須原駅や入広瀬駅、大白川駅などでは、観光交通の結節点として、周辺の景観整備を図るとともに、最寄りの観光名所や周遊ルート案内を表示するなど、鉄道を利用する観光客のための整備改善を図ります。
- 交流人口拡大のため、JR只見線の全線復旧を関係機関に働きかけます。



JR 大白川駅

## 安全に安心して暮らせるまちを形成します

### 【冬期でも暮らしやすいまちの形成】

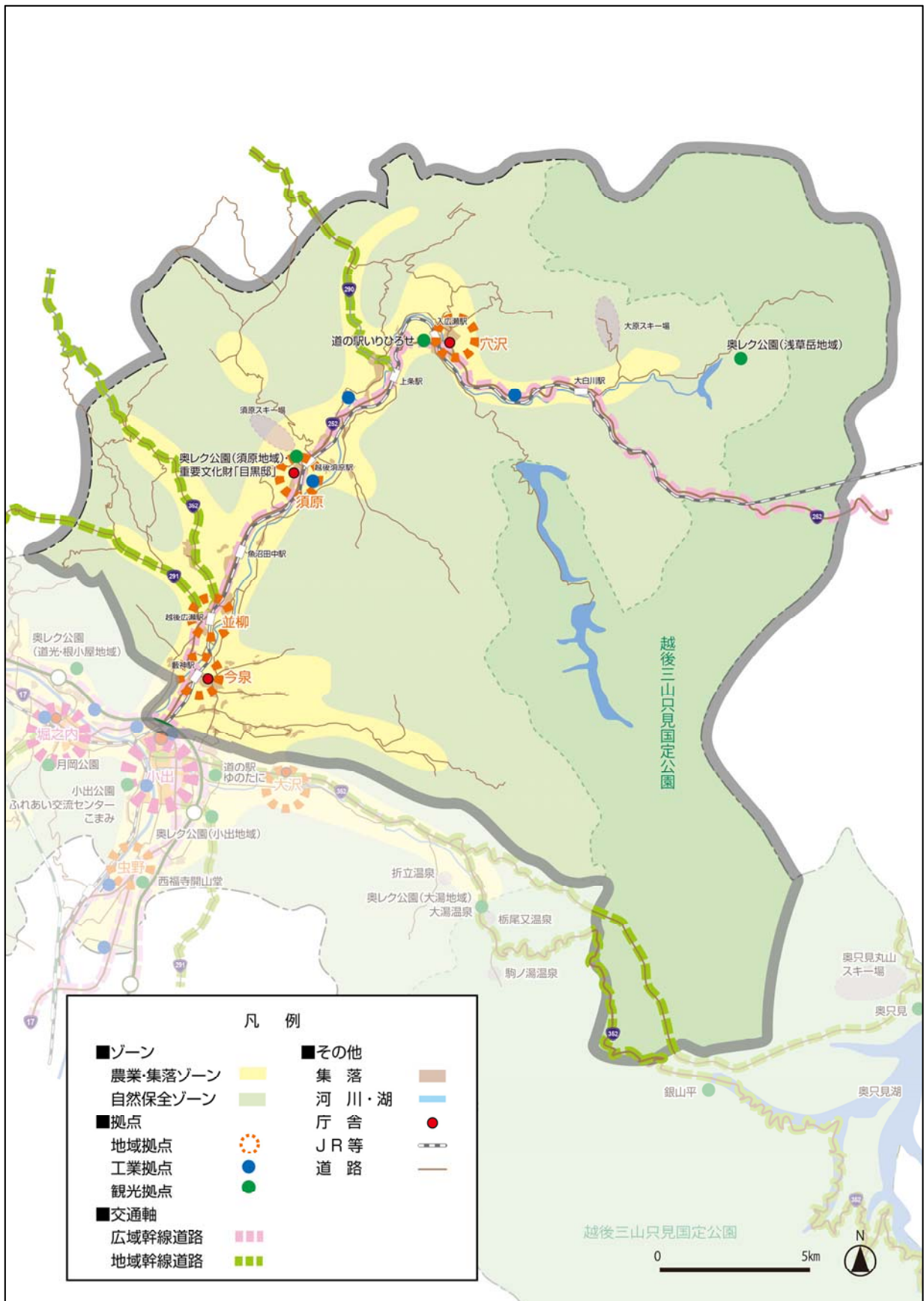
- 市内でも特に積雪の多い地域であることから、豪雪時でも安全で円滑な道路交通が確保できるよう、道路改良や雪崩対策のための施設整備、維持管理などを関係機関に働きかけます。
- 人口減少や高齢化が特に顕著な地域であることから、高齢者の雪下ろしによる負担を軽減し事故を減らすための対策を検討します。

### 【安全なまちの形成】

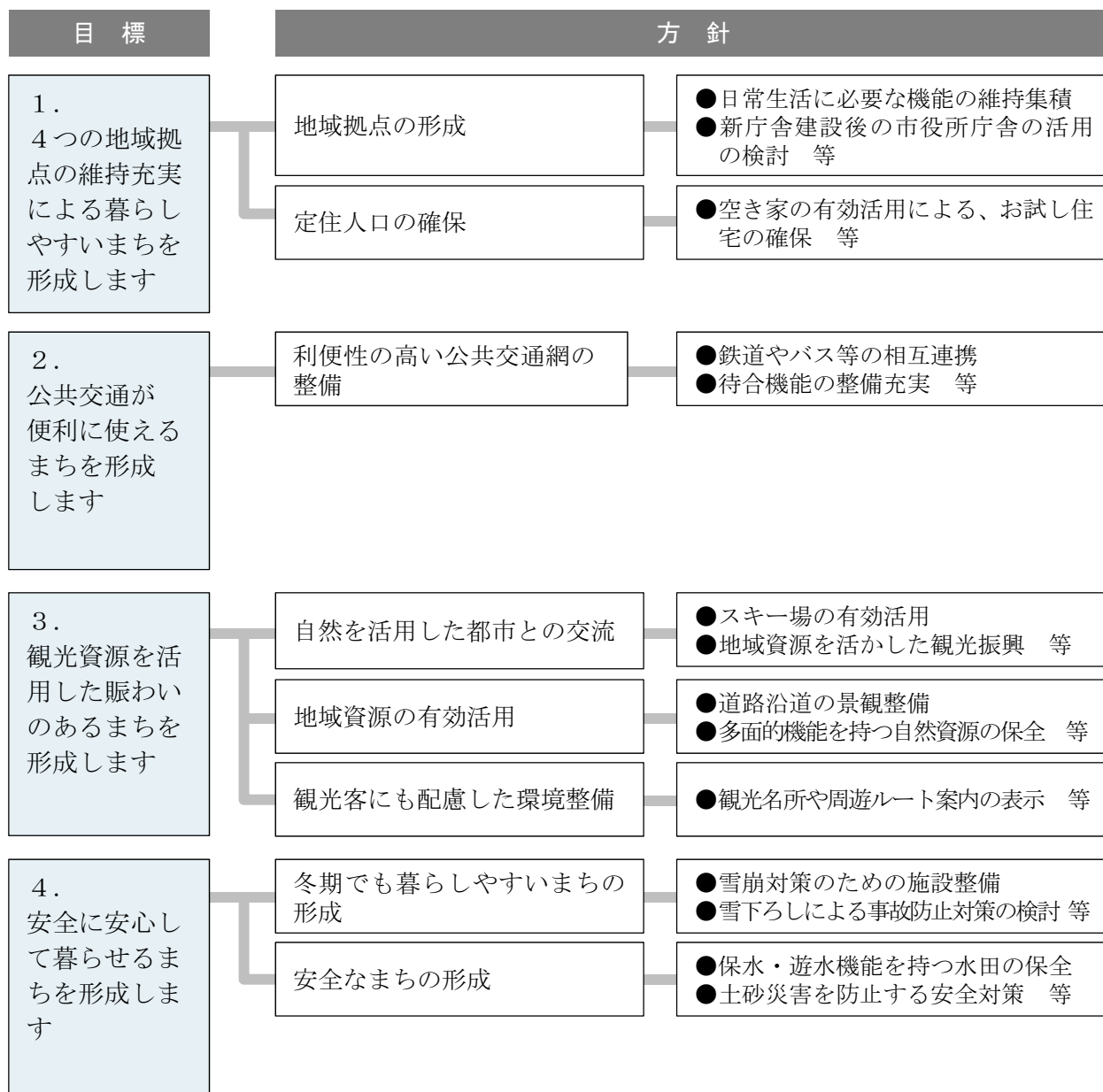
- 破間川の河川改修を関係機関に働きかけるとともに、下流域を水害から守るため、保水・遊水機能を持つ水田の保全を図ります。
- 山裾や山間部の集落では、土砂災害を未然に防止するための安全対策を促進するとともに、災害発生の危険のある土地に対しては、住宅や公共施設等の新たな立地の抑制など、開発や建築の適切な誘導を図ります。
- 国道 252 号は、地域を貫く中心軸であり、住民の生活を支える重要な道路であることから、土砂災害や雪崩などの災害によって通行不能となることがないように、整備及び適切な維持管理を関係機関に働きかけます。



■北部地域 方針図



## ■北部地域 方針の体系

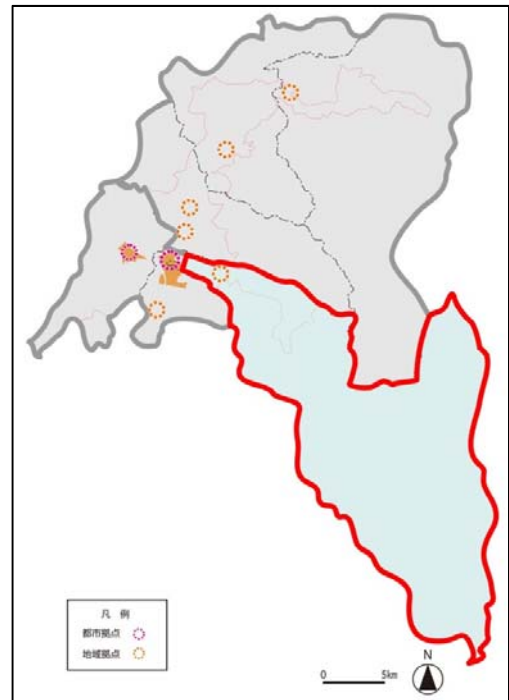


# 3 東部地域

## (1) 都市の現況

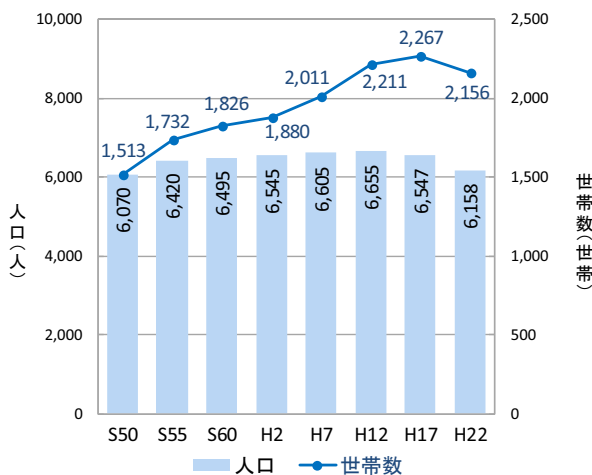
### ① 地域の概要

- 市の東部に位置する本地域は、湯之谷地域を中心とした区域で、地域の北側には国道352号と佐梨川が横断し、それに沿って集落地が形成されています。
- 地域の大部分は山林が占め、越後三山只見国定公園や尾瀬国立公園の一部にも指定されています。また、大湯、栃尾又などの温泉地、奥只見湖、スキー場など、自然資源を活用した観光資源が多く分布しています。
- 地域内に鉄道はなく、南越後観光バスの路線バスと乗合タクシーが運行しています。

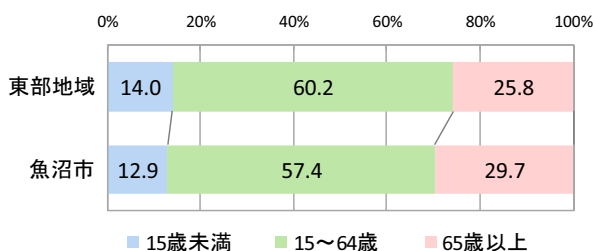


### ② 地域基礎データ

#### ● 人口・世帯数の推移



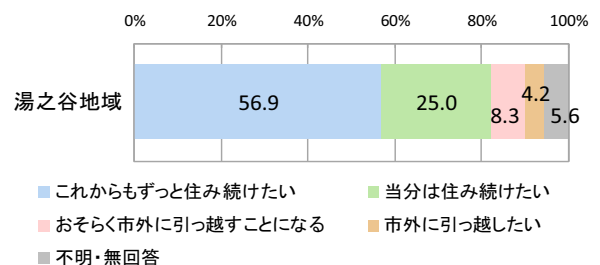
#### ● 年齢3区分別の人口割合



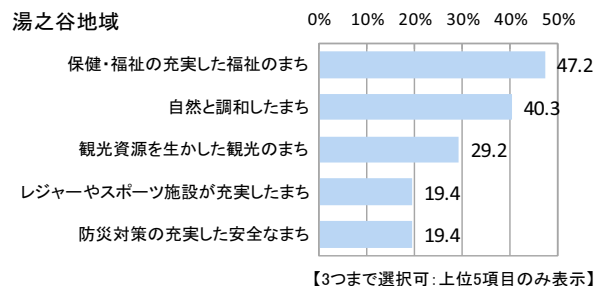
※人口・世帯数は、湯之谷地域全域の値

### ③ 住民意向 (H25.7 実施 市民アンケート結果)

#### ● 今後の居住意向



#### ● 将来望まれるまちのイメージ



## (2) 地域の現状と課題

### 【温泉、自然など豊富な観光資源の分布】

- 地域内には大湯温泉や栃尾又温泉、折立温泉等の温泉地のほか、尾瀬や銀山平、奥只見湖など地域を特徴づける観光資源が分布しており、地域活力の維持や観光活性化のためにはこれらの地域資源を有効に活用していくことが重要です。

### 【不便な交通網】

- 地域内には鉄道が通っておらず、路線バスと乗合タクシーが地域の公共交通を担っています。
- 国道 352 号は地域住民や観光客が利用する重要な道路ですが、急カーブや狭あい部分も多くあり、安全な通行を確保するための対応が必要となっています。

### 【中山間地域での生活環境の維持】

- 中山間地域である本地域では人口減少が進んでおり、平成 22 年には東湯之谷小学校が井口小学校へ統合されています。今後も人口減少が進む中で、地域住民の生活利便性を維持するための仕組みづくりが必要となります。

### 【災害の危険性】

- 本地域は山地に囲まれており、雪崩発生危険箇所や土砂災害警戒区域等が多く分布しており、発生箇所によっては集落の孤立の危険性もあるため、災害防止のための対策と安全な道路ネットワークの整備が求められます。

## (3) 将来目標

- 目標 1 温泉、奥只見など豊富な観光資源を活用した賑わいのあるまちを形成します
- 目標 2 公共交通の利便性を向上し、暮らしやすいまちを形成します
- 目標 3 豊かな自然環境の保全と活用による潤いのあるまちを形成します
- 目標 4 安全に安心して暮らせるまちを形成します

## (4) 地域づくりの方針

温泉、奥只見など豊富な観光資源を活用した賑わいのあるまちを形成します

### 【自然資源を活用した観光拠点の形成】

- 本地域には温泉や、奥只見レクリエーション都市公園、银山平、奥只見湖などの観光資源が多数分布していることから、これらの観光地を有効に活用し相互のネットワーク化を図ることで、活力と賑わいのある地域形成を支援します。
- 奥只見湖から尾瀬に通じる観光ルートは「尾瀬観光の玄関口」として、ルートの整備や公共交通の充実を図り、広域からの観光客の誘致を推進します。
- 自然体験や農業体験などの体験型観光のための環境整備を支援し、魅力ある観光地の形成を目指します。



银山平

### 【施設やイベントの充実による賑わいの創出】

- 地域に古くから存在する大湯温泉は、温泉街の修景整備等により、その機能の充実と環境整備を図ります。
- 温泉地やスキー場などの観光地への公共交通によるアクセス方法を検討し、自動車を利用しない観光客にとっても訪れやすい観光地の形成を目指します。
- 当地域を訪れる来訪者が心地よく、安全で快適な観光を楽しめるよう、幹線道路沿道の魅力ある景観整備や、魚沼らしい案内標識の設置などを推進します。
- 湯之谷薬師スキーカーニバル等の冬季イベントと温泉との連携を支援する環境整備を推進し、冬期の賑わいある観光地の形成を目指します。



大湯温泉

公共交通の利便性を向上し、暮らしやすいまちを形成します

### 【地域拠点の形成】

- 大沢地区周辺を地域拠点と位置づけ、日常生活に必要な機能の維持集積を図り、近隣住民や周辺集落住民の生活利便性の維持向上を図ります。

- 大沢地区に立地する市役所庁舎は、新庁舎建設後も耐用年数や安全性、老朽化の進行状況等を踏まえ、長期的な視点で用途変更や複合的な活用を検討します。

### 【利便性の高い交通網の整備】

- 買回り品の買物や通勤・通学、病院や福祉施設等の都市サービス施設へ円滑にアクセスするため、小出市街地に連絡する公共交通網の充実を図ります。
- 湯之谷地域には鉄道が運行していないことから、乗合タクシーと路線バスの充実・連携により農村集落に居住する高齢者でも気軽に外出できる環境を整えます。
- 奥只見シルバーラインは多くの観光客が利用する道路であることから、春先の通行止めの早期解除と、適切な整備や維持管理を関係機関に働きかけます。



湯之谷庁舎



奥只見シルバーライン

### 【定住人口の確保】

- 今後も人口減少が見込まれる中で、生活サービス機能や地域コミュニティを維持していくため、空き家の有効活用によるU・Iターン者向けのお試し住宅の確保等、人口維持に向けた取組を推進します。

豊かな自然環境の保全と活用による潤いのあるまちを形成します

### 【自然環境の保全】

- 地域東部の越後三山只見国定公園や尾瀬国立公園に指定されているエリアは本市を代表する自然環境であることから、その美しい景観を保全するとともに観光資源として有効に活用します。
- 農業・集落ゾーンに広がる農地は、全国的に有名な魚沼産コシヒカリの産地でもあることから、地域を特徴づける豊かな田園環境として保全・活用を図ります。



越後三山と桜づつみ



## 安全に安心して暮らせるまちを形成します

## 【冬期でも暮らしやすいまちの形成】

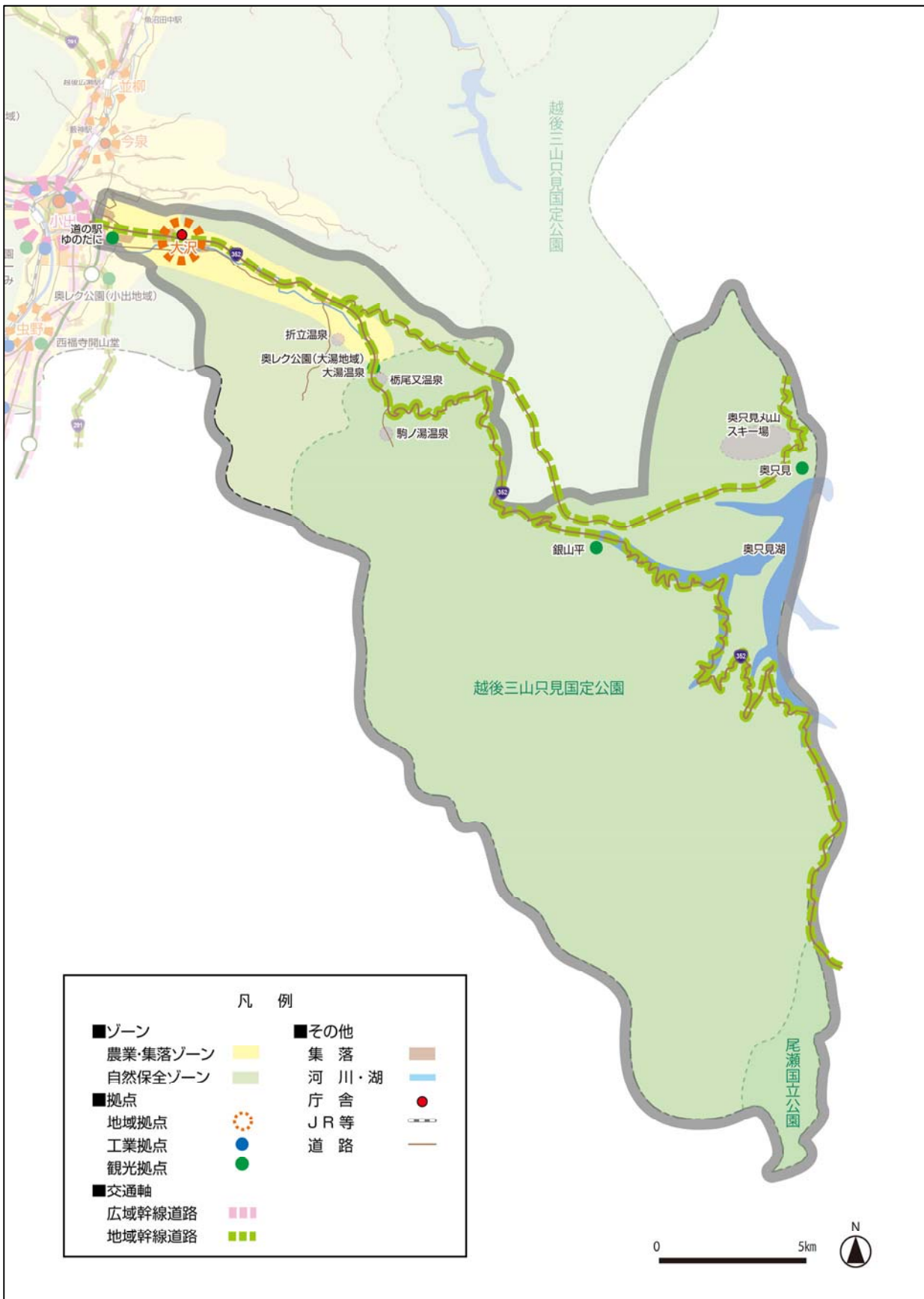
- 豪雪時でも安全で円滑な道路交通が確保できるよう、道路改良や雪崩対策のための施設整備、維持管理などを関係機関に働きかけます。
- 今後進行する人口減少と高齢化を踏まえ、高齢者の雪下ろしによる負担を軽減し事故を減らすための対策を検討します。

## 【安全なまちの形成】

- 佐梨川の河川改修を関係機関に働きかけるとともに、下流域を水害から守るため、保水・遊水機能を持つ水田の保全を図ります。
- 山裾や山間部の集落では、土砂災害を未然に防止するための安全対策を促進するとともに、災害発生危険のある土地に対しては、住宅や公共施設等の新たな立地の抑制など、開発や建築の適切な誘導を図ります。
- 国道 352 号は、重要な観光ルートであるとともに、住民の生活を支える道路であることから、土砂災害や雪崩などの災害によって通行不能となることがないように、整備及び適切な維持管理を関係機関に働きかけます。



## ■ 東部地域 方針図



■ 東部地域 方針の体系

